

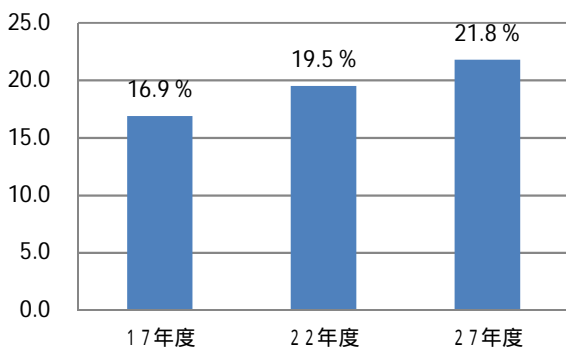
# 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

## めざす状態

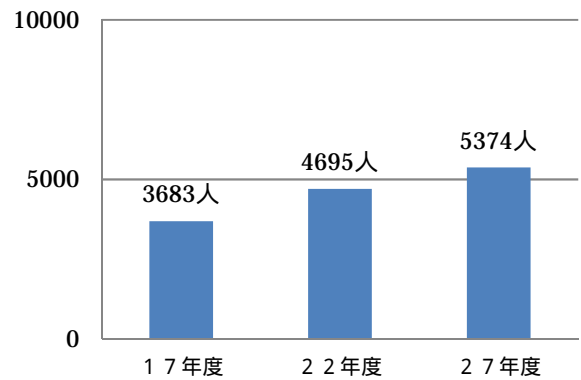
だれもが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けていくことをめざし、地域にかかわるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活をともに楽しむ地域を作り上げていく「地域福祉」を推進する。

## 区の現状

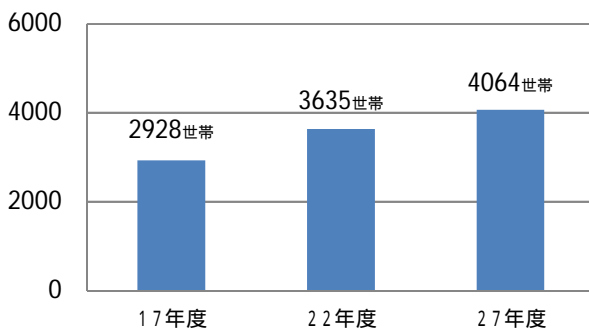
### 高齢化率



### 独居高齢者人口



### 高齢者のみの夫婦世帯

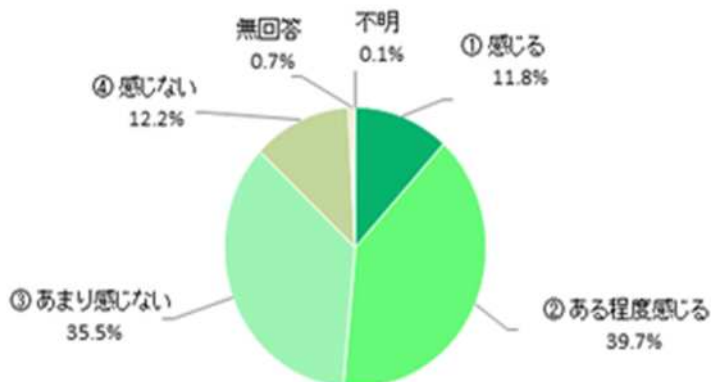


◆ 認知症高齢者(4月1日現在)

◆ 障がい者手帳交付者数 (3月31日現在)

(人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
認知症高齢者数(在宅)	1,307	1,410	1,460
身体障がい者手帳交付数	4,934	5,013	5,097
障害手帳交付者数	1,006	1,039	1,082
精神障がい者保健福祉手帳交付者数	903	955	1,020



「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」  
が行われていると感じる区民の割合

## 課題

要介護者の見守りや相談支援等の地域福祉活動の推進には、新たな担い手の発掘・育成が求められており、そのために地域住民の主体的な活動と、地域の福祉課題の解決を住民とともに活動する区社会福祉協議会と区役所が連携した支援が必要である。

区社会福祉協議会は区役所だけでなく福祉局からも福祉を推進するための委託事業を受けており、その事業間でも連携した取組も必要となってきた。

## 具体的取組

住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業の実施により、区社会福祉協議会と区役所が連携し、地域の福祉活動の支援や地域有償ボランティア活動により担い手の育成につなげていく。また、コミュニティソーシャルワーカーにより各地域の地域福祉コーディネーター（つなげ隊）さんと連携・支援し、各地域で実施する地域福祉活動への支援を図る。

区社会福祉協議会の受託事業ごとに区役所と連携を取って進めてきたが、今後は、各事業間の連携も積極的にとる取組みを行う。

区役所においては、保健福祉課だけでなく、地域活動支援課等関係する部署間の連携を進めていく。

～これまでの取組の紹介・成果など～

地域の福祉課題に関する相談窓口として、地域福祉コーディネーター（つなげ隊）を各地域12名配置。  
相談件数 2577件（平成28年度）

コミュニティソーシャルワーカー3名配置による、各地域での地域福祉活動や、地域福祉コーディネーターへの支援。

地域福祉活動への支援による、ネットワーク委員会や体操・サロン事業などの交流の場の拡充と事業の継続。  
101件（平成28年度）

地域有償ボランティア会員数や活動量は増加してきている。

会員数 262名（平成28年度末） 派遣数 726件（平成28年度）



「つなげ隊」の皆さん



「あいまち」  
のボランティア  
活動の様子